

予算決算常任委員長報告

令和2年9月30日

今期定例会において、予算決算常任委員会に審査付託となりました議案17件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

本委員会では、去る9月16日から29日に委員会を開催し、担当部局長等の出席を求め、慎重に審査いたしました。

また、28日には、総務、教育民生、産業建設の各分科会においてそれぞれ選定した重点項目について担当部長等の出席を求め、慎重に審査いたしました。

議案第110号「令和元年度三次市一般会計歳入歳出決算認定について」外議案16件については、審査の結果、いずれも全員一致をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

各分科会主査報告の要旨を申し上げます。

総務分科会からは、ふるさと納税については、「積極的な歳入の確保」の取組として捉え、さらに研究、創意工夫を凝らし、安定的な財源の一部となるよう取り組まれない。また、定住促進PRラジオ番組企画放送業務などのメディア戦略については、様々な媒体、チャンネルを利用し本市をアピールすることは必要であるが、財源を投資するものであることから、その効果を検証されたい。

教育民生分科会からは、健康づくりセンター事業については、施設の維持費や人件費等、運営に係る収支をわかり易く市民に公表し、事業効果の向上、収支の改善には経営感覚を持って取り組まれない。

産業建設分科会からは、令和元年度プレミアム付き商品券（三次藩札）発行事業については、地元製品の消費拡大や消費喚起による地域経済への波及効果、雇用への影響等細かい分析を行い事業効果の把握に努められたい。

以上、各分科会主査報告のほか、委員会審査において各委員から述べられた指摘及び意見についても、今後、施策に十分に反映していただくよう要望し、委員長報告を終わります。